

夏期日本語集中コースにおける町紹介 YouTube video 作成プロジェクトの試み An Exploratory Project in Creating YouTube Videos to Introduce the Town during a Summer Intensive Course

本発表では、夏期集中日本語コースにおける町紹介 YouTube video 作成プロジェクトの試みの2年目の実践報告を行う。学習とは頭の中だけで起こる知識の蓄積ではなく、学習者が社会の中で他者との相互行為に参加し変化していく過程こそが、重要である(佐藤&熊谷 2011)。このプロジェクトでは、相互交流と地域貢献を目指し、夏期集中コースに参加している学生が各々テーマを決め、二か月間滞在している町を紹介する YouTube video を作成した。ビデオの作成過程では、地域の人々にインタビューをしたり、更に学習者間同士でも作成中に何度もフィードバックを行ったりするなどの相互交流を積極的に行った。

地域の人々との交流があまり発展せず、全国発信が思ったより進まなかったという1年目のプロジェクトの反省を踏まえ、今回は積極的な宣伝を行った。結果として、1年目よりも交流は進んだのみならず、レベルを超えた学習者間の交流、プログラム終了生との交流、家族との交流、地域との交流など、当初目的としていなかった交流が数多く生まれ、日本語の上達と学習意欲の向上、また地域へもっと積極的に関わっていきたいという意識へと繋がった。

本発表では、プロジェクトの概要や学習者の反応、どのような交流が生まれたかという報告と共に、目標設定の意義や教師の役割についても議論したい。